

特集

「病理検査」ってなに？

健康講話

「食物アレルギー」とは



皆さんは「病理検査（びょうりけんさ）」という言葉聞いたことがありますか？
病理検査とは、からだの一部を採取し、それを顕微鏡で詳しく観察して病気の正体を調べる検査です。

画像検査（レントゲンやCTなど）が“からだを外から見る検査”だとすれば、病理検査は“細胞や組織を直接見る検査”といえます。がんかどうかを最終的に診断する、とても重要な検査です。

1 組織検査

▶ 組織検査とは？

組織検査とは、内視鏡（胃カメラなど）や手術で採取した小さな組織のかけらを調べる検査です。例えば胃カメラで胃の粘膜を少しつまんで採取したものを「組織」として観察します。
顕微鏡で見ると、正常な胃の粘膜はきれい

に並んだ腺（せん）構造が規則正しく並んでいます。一方、胃がんでは細胞の並び方が乱れ、形も不揃いになり、正常とは異なる構造を示します。
この“乱れ”や“違い”を丁寧に観察して診断しています。

▶ 標本ができるまで

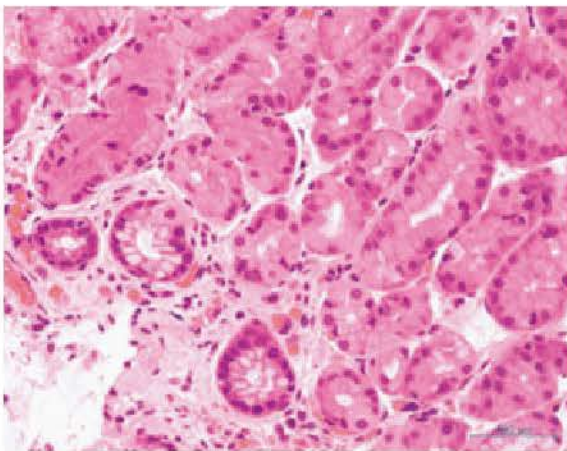
採取された組織は、次の工程を経て「標本」になります。
①固定：組織が変化しないよう薬液につけます。②脱水・包埋：水分を取り除き、パラフィンというロウのような物質に埋めまします。③薄切（はくせつ）：数ミクロン（髪

の毛よりはるかに薄い厚さ）にスライスします。④染色：細胞が見やすいよう色をつけます。こうしてできた標本を顕微鏡で観察します。このように1枚の標本ができるまでには、多くの専門職（臨床検査技師など）が関わっています。

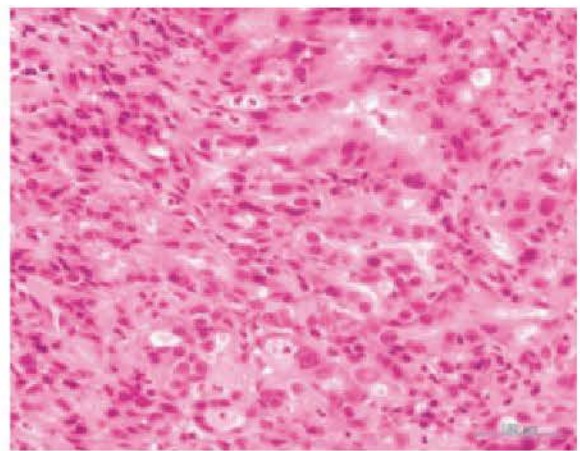
▶ 組織像の見方

顕微鏡の世界では、細胞の形や並び方、核の大きさ、染まり方などを観察します。
例として正常な胃の組織像と胃がんの組織

像を掲載しますので両者の違いをぜひ見比べてみてください。



正常な胃の組織像



胃がんの組織像

正常な細胞は形や大きさがほぼそろっていますが、がん細胞では核（赤紫に濃く染

まっているもの）が大きくなり、不揃いになり、増え方も異常になります。

2 細胞診検査

▶ 細胞診とは？

細胞診は、組織のかたまりではなく“細胞そのもの”を調べる検査です。

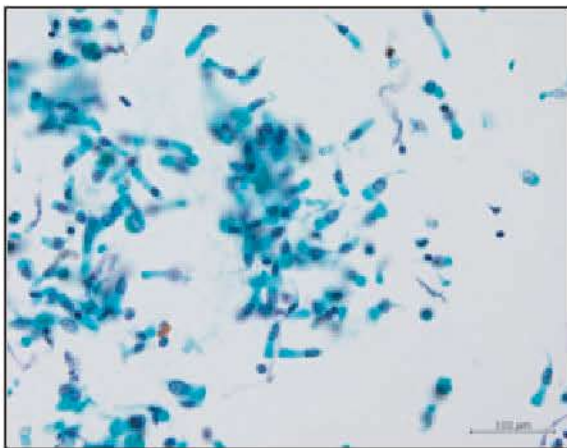
痰(たん)、尿、子宮頸部の検査、あるいは乳腺や甲状腺などで細い針でしこりを刺して細胞を

採取する方法などがあります。

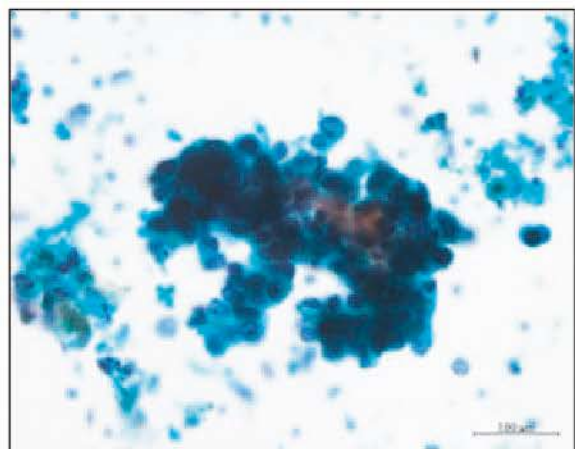
細胞診は体への負担が少なく、比較的簡便に行える検査です。早期発見にも役立っています。

▶ 細胞像の違い

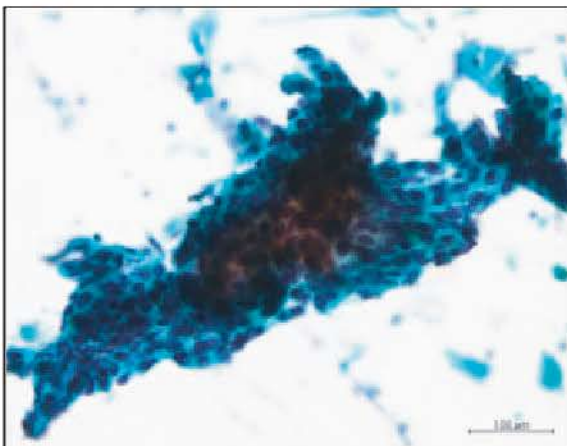
例として、正常な肺の細胞像(下図左)と肺癌の細胞像(下図右)を見比べてみてください。



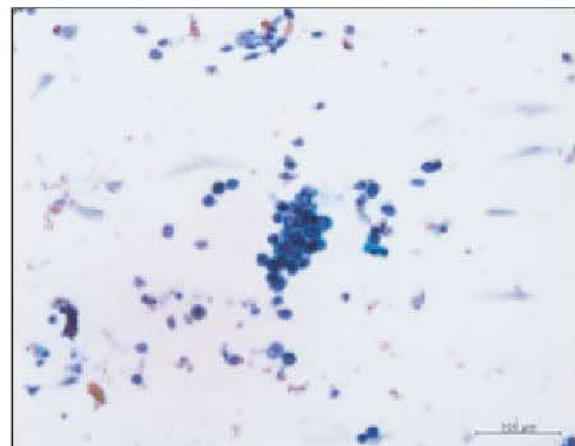
正常細胞



腺癌



扁平上皮癌



小細胞癌

正常の細胞では線毛(せんもう)という毛を持つ細胞が均一な大きさで見られますが、腺癌では核が偏在(片方に寄る)したり、大きさが不揃いで重なるような塊で見られます。扁平上皮癌では濃く染まった核を持つ角ばった細胞や、流れるような配列が見られます。小細胞癌では小さく濃く

染まる細胞が押し合うように密にみられます。

同じ「がん」でも、種類によって細胞の見え方は大きく異なります。これらを見分けることが、治療方針を決めるうえで非常に重要です。



3月号では、「食物アレルギー」と症状が似ているけれど実は全く別の現象である「不耐症」について解説しました。何かを食べて有害な反応が起

きた時、「免疫が無関係で」「食物側に原因がある」のが不耐症、「免疫が関係していて」「人体側に問題がある」のが食物アレルギーです。

「食物アレルギー」とは「食物アレルゲンの誤認逮捕」です

● 免疫と抗体

人体の中には、様々な異物(非自己)が発生します。細菌・ウイルス・寄生虫等の外部から侵入してくるものもあれば、癌細胞のように内部で発生するものもあります。異物はすぐに排除しないと、人体に有害です。自分(自己)と自分ではないもの(非自己)を判別して、異物だけを体から排除する仕組みのことを「免疫」と呼びます。

免疫は、主に「白血球」という細胞が担当しています。

「白血球」はいくつかの種類に分かれ、その中の1つが「リンパ球」です。

「リンパ球」も、さらに「B細胞」「T細胞」「NK細胞」の3つに大きく分かれるのですが、このうちの「B細胞」が「抗体」を産生します。

この「抗体」という言葉は日常生活でもよく使われますよね。「インフルエンザのワクチンを打って体で抗体を作る」とか。その抗体です。「抗体」とは異物を攻撃するために体の中で産生されるヒトのタンパク質のことです。アルファベットのYのような形をしています。

「抗体」は、IgG・IgA・IgD・IgE・IgMという5つの種類があるのですが、それぞれ得意分野が違います。IgEは本来は主に寄生虫を攻撃するための抗体です。(ちなみに、実は、このIgEを世界で初めて発見したのは、日本人の石坂先生夫妻です)。

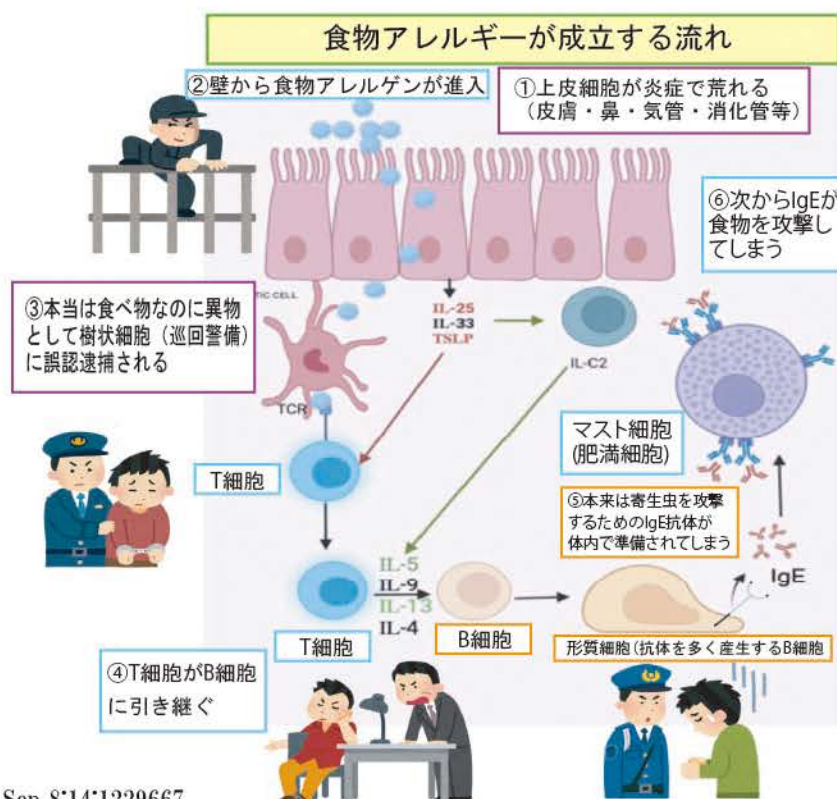
● アレルゲンと感作(かんさ)

食物は私達にとっては栄養で、異物ではありません。栄養を異物として攻撃してしまっただけは困るのです。ところが、口からではなく、炎症を起こしている皮膚・鼻の粘膜・腸の粘膜等、本来は入ってきて欲しくない壁(上皮)をぶち破って外から侵入してきた場合は、食物は異物として誤認されやすくなります。日常生活で考えてみて下さい。扉からではなく壁を乗り越えて入ってきた不審者が、まともな人だとは思えませんよね!?

アレルギーを引き起こす原因のことを「アレルゲン」と呼びますが、食物のアレルゲンは(例外もたくさんあるのですが)タンパク質であることが多いです。タンパク質は比較的大きい物質で、そのままでは皮膚を通り抜けることができません。炎症とは体の中の火事のようなものです。炎症で壁がボロボロになっている湿疹等、炎症で壁が壊れているところからアレルゲンが侵入してくるのです。

かくして、食物は(本当は人体にとって有用な栄養なのに)悪いヤカラ=異物として誤認逮捕されます。人体は1回目は許してくれます。ところが、「次に侵入した時は容赦しないぞ!」と、次回に備えて、あたかも現実世界の刺又のような形のIgEが産生されるのです。

このIgEが産生されることを、「感作」と呼びます。このIgEが関係している食物アレルギーが、一般的に食物アレルギー(IgE関連食物アレルギー・即時型食物アレルギー)と呼ばれています。



連携医のご紹介

松葉クリニック



院長 兼川 潤一

診療科目 内科・小児科・泌尿器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:15	○	○	○	/	○	○	●
15:00～17:45	○	○	○	/	○	/	○

● 日曜日の午前：9:00～11:15

○ 日曜日の午後：13:00～14:45

※受付：診療開始15分前から

※泌尿器外来：第1・第3日曜日のみ診療
(お電話でご確認下さい)

休診日 木曜日、祝祭日、年末年始(12月31日～1月3日)

連絡先 龍ヶ崎市松葉4丁目10-17 TEL 0297-65-7282

医療法人社団松葉クリニックは、2014年9月1日に開院致しました。JR常磐線・龍ヶ崎市駅から約10分の場所に位置し、地域の皆様に寄り添った医療を提供しております。

当院では、内科・小児科・泌尿器科(隔週日曜のみ)を診療科目としており、幅広い年代の患者様の健康をサポート致します。日常的な体調不良に加え、各種ワクチン

接種や生活習慣病(高血圧・糖尿病など)の管理・ご相談にも対応し、安心してご来院頂ける環境づくりを大切にしております。

JAとりで総合医療センター様には、小児外科をはじめ高度で専門的な医療体制が整っており、大変心強い存在として今後も引き続き頼りにしております。

宜しくお願い申し上げます。

お薬ふくろう便

当院の薬剤部で作成している「お薬ふくろう便」から抜粋した内容を掲載します。今回は高血圧の薬に関する疑問にお答えします。



Q 血圧が高い日もあれば正常な日もあります。薬は、毎日飲まないといけないのでしょうか？

血圧の薬は血圧を平均的に下げることがポイントです。これにより動脈硬化を予防しています。血圧が高いときだけ薬を飲むと、むしろ血圧の変動が大きくなり、血管に不必要な負担を与えることとなります。

薬によっては、心疾患・腎疾患・脳卒中などの合併症にも良い効果があります。勝手に薬を中断することは避けましょう。合併症を悪化させない為にも医師の指示に従い、規則正しく飲むようにしましょう。

Q なぜ血圧の薬は何種類も飲むことがあるのですか？

血圧は複雑な仕組みで調節されており、異なる作用の薬を組み合わせる事で血圧が下がることがあります。1種類の薬で効果がない場合は2～3剤の併用、あるいはそれ以上の薬を使うこともあります。

Q 薬を飲んで1週間経ちますが血圧がさがりません。このまま飲み続けて大丈夫ですか？

心配いりません。長い年月をかけて少しずつ上がってきた血圧を、急激に下げるとめまいやふらつき等の症状が出やすくなります。数ヶ月かけて少しずつ血圧を下げ、体もより低い血圧に慣れさせることが必要です。医師は身体の負担が少しでも少ないよう薬の量や種類を調節しています。指示どおり服用しましょう。

Q グレープフルーツジュースと飲み合わせが悪い薬について教えてください

カルシウム拮抗薬(アムロジピン、カルプロック、コニール、シルニジピン、セバミットR、ニフェジピン(CR・L)、ヘルベッサR)は、グレープフルーツジュースと一緒に飲むと、薬の作用が強くて血圧が下がりすぎる事があり、注意が必要です。
*カルシウム拮抗薬とは、血管壁へのカルシウム流入を抑えることで血管を拡張し、血圧を下げます。



✧ 途中、もうダメかと思ってしまう瞬間があったが、病院関係者の方にアドバイスや励ましをもらいながら、なんとか最後まで諦めずに普通分娩で出産することができた。胸を張って頑張ったお産だと言われたことがとても嬉しかった。

✧ 主治医の先生は毎日丁寧に回診してくださり安心でした。助産師さんも気さくな方が多く楽しい入院生活でした。

✧ 急なお産となりましたが、素早く対応していただき無事に出産できました

✧ 初めての出産で不安もありましたが、たくさんの方にサポートしてもらい、安心して出産することが出来ました!ありがとうございました!

✧ 先生、助産師さんがとても優しく、心配事もしっかり聞いてくださり心強かったです。ありがとうございました。



✧ ありがとうございました。夕飯、アメニティグッズとても良かったです!

✧ とても相談やお話がしやすい雰囲気の中、助産師さん看護師さんが多く、出産から退院まで過ごすことができました。



✧ 2人目も無事産むことができとても嬉しいです。大変お世話になりました。ありがとうございます。近くにこちらの病院があることで今後も安心して暮らしていけます。

✧ 先生や助産師さんの細やかな配慮、心遣いが嬉しい入院生活でした。

✧ 陣痛から緊急帝王切開に変わった際、看護師さんずっと傍につき添ってくれて嬉しかったです。

令和8年度入会式で76名に辞令を交付

～新人・転入者歓迎レセプションも開催～



入会式

令和8年度の入会式が4月1日に行われました。今年度の新採用者76名（医師36名（内研修医11名）、看護部職員32名、コメディカル8名）と幹部職員が出席し、新採用者の名前が一人一人呼ばれた後で富満院長から辞令が交付されました。

入会式に続いて研修医や看護部職員等に院長講話がありました。富満院長は当院の特徴や目指す将来像を述べ、「患者さんの満足感に接し、自分



新人・転入者歓迎レセプションで挨拶する研修医

の仕事に「やり甲斐」を感じる、楽しく仕事ができる職場を一緒に作りましょう」と呼びかけました。

また「新人・転入者歓迎レセプション」も講堂で夕方行われ、多くの職員が参加しました。和やかな雰囲気の中で各部署の新採用者が紹介され、あたたかい歓迎の拍手が送られました。

小児救急の輪番体制が変わりました

茨城県の小児救急医療圏において、当院は常総地域（取手市/守谷市/つくばみらい市/常総市/利根町）にあり、当地域の小児救急は当院と総合守谷第一病院の2病院による輪番制で対応しています。2026年度は小児

科医が減少するため、4月1日（水）から下記の輪番体制にさせて頂きました。地域の皆様にご迷惑をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。

	日	月	火	水	木	金	土
休日/祝日 9時～17時	とりで	とりで	守谷	とりで	守谷	とりで	とりで
17時～23時		とりで	守谷 (祝日除く)	とりで	守谷 (祝日除く)	とりで	

守谷：総合守谷第一病院

とりで：JAとりで総合医療センター

- ◆火曜日、木曜日が祝日の場合、総合守谷第一病院は17時以降の対応は出来ません。
- ◆総合守谷第一病院が輪番の際は、当院は小児救急の対応は出来ません。
- ◆全日の23時以降と、日曜日、土曜日の17時から23時までは常総地域には小児救急の対応が出来る医療機関はありません。#8000や総合病院土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院にお問い合わせ頂くようお願い申し上げます。

頭痛専門外来のご案内

4月3日から頭痛専門外来を開始しました。

頭痛でお困りの患者さんが受診しやすい環境を作ることで気軽に受診していただき、診断の後に症状の程度・頻度を減らしたく専門外来を開設しました。当院は総合病院ですので、脳腫瘍など二次性頭痛の検索や、片頭痛に対する最新の抗体薬の導入などできる環境となっています。

担当医師

片山 優希 医師（脳神経内科、頭痛専門医）

外来診察

毎週金曜日（14時～16時）、内科外来

受診方法

完全予約制、予約センターへお電話ください。
急ぎの受診の場合は専門外来を待たず、予約なしで内科・脳神経内科、新患外来・救急外来を受診してください。

問診票

問診票を事前に記入し持参して頂くことを推奨しています。
問診票は、当院ホームページの内科、頭痛専門外来（事前準備・問診票について）からダウンロード出来ます。



当院に初回受診の場合は、紹介状がないと選定療養費がかかる場合があります。
詳細はホームページ（内科、頭痛専門外来）をご覧ください。

祝日の一部を開院します

令和8年度も祝日の一部を開院します。全ての診療科で平日と同じ診療、検査を行う予定です。外来受診の際にご注意いただくようお願いいたします。

開院日 4月29日（水） 7月20日（月）
8月11日（火） 10月12日（月）

予約センターの電話番号が変わります

5月11日 13時30分～ 0297-72-0015 → **AI電話** 050-5838-9517

訂正とお詫び

NO. 425の「新人のご紹介 3階南病棟」の記事で、紹介者の氏名が「竹添 実」となっていますが、正しくは「竹添 実希子」です。訂正してお詫びいたします。

今月の表紙

私たち病理検査のスタッフは、手術や検査で患者さんから採取された組織や細胞を詳しく調べ、病気の有無や特徴を明らかにして治療に役立てています。



「JAとりで通信」のアンケートにご協力をお願いします

右のQRコードからアンケートを開きお答え頂くようお願いいたします。

